

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

佐賀県大町町 町立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 1	指定病院の状況 2
直営	7	対象	ド訓	救 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
6,836	2,906	第2種該当	15:1	

1 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療

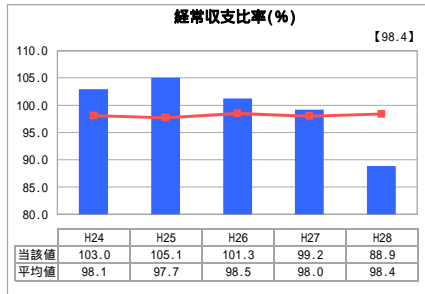
2 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
60	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	60
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
46	-	46

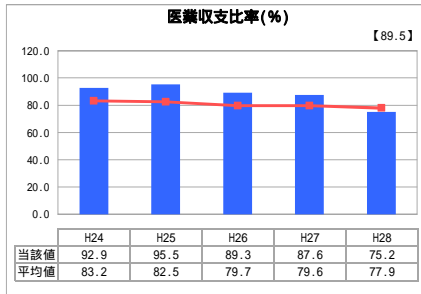
**グラフ凡例**

■ 当該病院値（当該値）  
 - 類似病院平均値（平均値）  
 【】 平成28年度全国平均

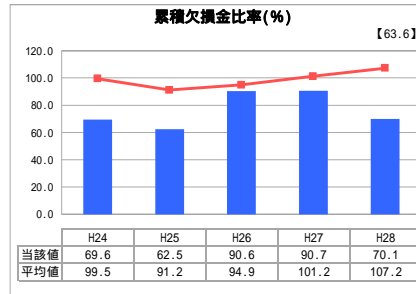
## 1. 経営の健全性・効率性



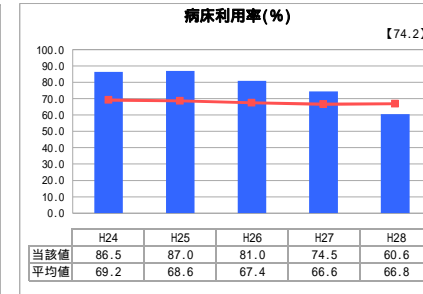
「経常損益」



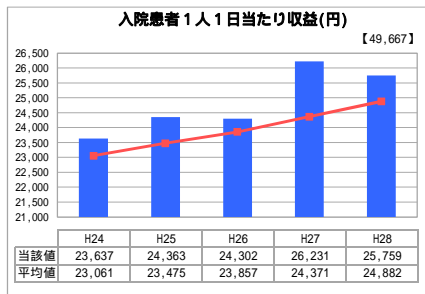
「医業損益」



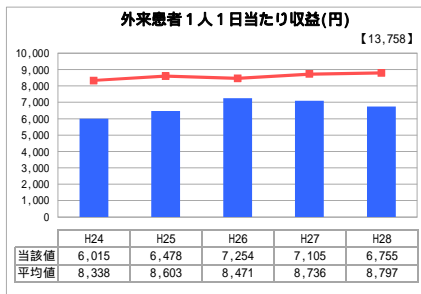
「累積欠損」



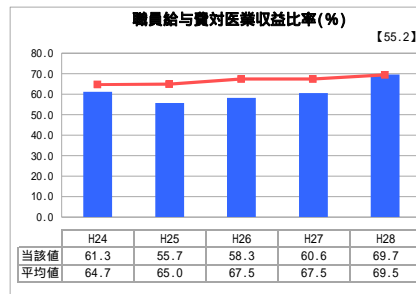
「施設の効率性」



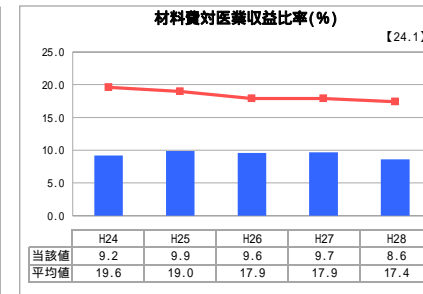
「収益の効率性」



「収益の効率性」

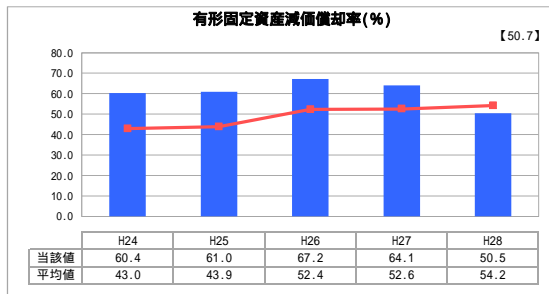


「費用の効率性」

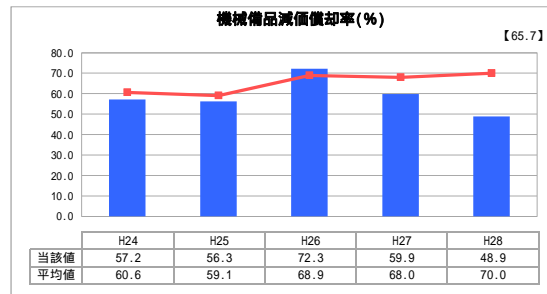


「費用の効率性」

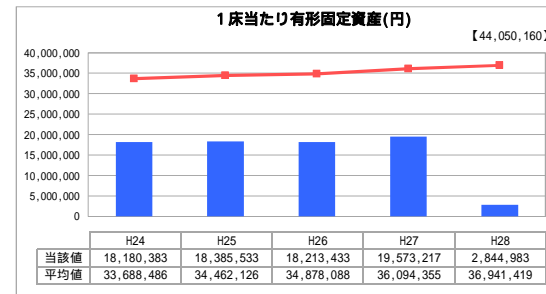
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## 地域において担っている役割

○救急告示、急性期病院として地域医療を担ってきたが、過疎、高齢化による人口減少、医師不足による診療科の減少により診察科の減少に伴い患者数が減少し平成28年度末にて閉院となった。

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

○患者数は入院、外来共に以前より過疎、高齢化による人口減少、医師不足による診療科の減少により減少傾向にあり、また入院の平均在院日数の増加から平成28年度より看護配置を13対1から採算性の悪い15対1へ変更した事が収益の更なる悪化へとつながった。  
 ○平成28年度は収益（経常収支比率、医業収支比率、病床利用率、入院患者1人1日当たり収益、外来患者1人1日当たり収益）は減少した。  
 ○これに呼応し、職員給与費対医業収益比率は増加しており、患者数減少により材料費対医業収益比率は低下するなど経営の効率性は悪化している。  
 ○累積欠損金比率については、平成26年度の会計制度見直しにより増加したが、平成28年度末に民間への有償譲渡により減少している。

### 2. 老朽化の状況について

○有形固定資産減価償却率については昭和51年度建設の病院施設を始めとする、建物の老朽化が著しく、高い傾向となっている。  
 ○機械備品減価償却率については平成26年度の会計制度見直しによる償却資産の増加もあり高い傾向となっている。  
 ○1床あたり有形固定資産については、資金不足により設備投資が困難であり、低い水準となっている。  
 ○以上の状況により老朽化が著しい病院施設の改築が急務であるものの資金不足である。

## 全体総括

○これまで地域医療を提供してきたが、過疎、高齢化による人口減少、医師不足による診療科の減少により収益が悪化、重ねて病院施設の老朽化による改築が問題となり、将来的に健全運営は困難との判断から平成28年度末にて民間への有償譲渡となった。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。